

特別推奨は津留さん

あか毛和牛枝肉販促会

一般財団法人全日本あか毛和牛協会(穴見盛雄理事長)は7月13日、平成30年あか毛和牛認定農場枝肉販売促進会を、昨年同様、埼玉県和光市の(株)アグリ・ワン和光ミートセンターで開催した。



「あか毛増頭に向けた取り組みを」と穴見理事長

法などで4クラス(星の数なし)三つ。星の数が多いほど厳しい基準の飼育方法に分ける独自の評価基準を制定。肉質については赤身の割合が70%以上、BMS No.2と4が求められる。

今回の販売促進会では褐毛和種21頭が出品され、厳正な審査の結果、特別推奨牛には津留孝二

さんの出品牛(星一つ、去勢、A3、枝肉重量522.5キ、BMS No.4、ロースしん面積66キ、バラ厚7.4キ)が輝き、ちぎり方式で行われた販売会では(株)つばめがキロあたり3千円で購買した。

審査講評では、熊本県農業研究センターの江口敬子研究参事が「全体の平均ロースしん面積は雌で52キ、去勢では55キで、平均バラ厚は雌7.4キ、去勢7.7キという結果だった」

「星一つのカテゴリではバランスの取れている枝肉が多かったが、同

販売促進会はちぎり方式で行われた



パニオンおよびアグリ・ワンの皆さまに大変お世話になった」と謝辞を述べたあと、「褐牛の価格が若干低迷してきてはいるが、いろいろな形で増頭に向けた取り組みをこれからしていきたい」とあいさつした。

そのほかの受賞牛出品者は次のとおり。

【推奨牛】 水上畜産(星なし、去勢、A2、枝肉重量531キ、BMS No.3、2800円、購買者IIエムアイフドス(星なし、去勢、A3、456キ、雌、A3、456キ、BMS No.4、2800円、成城石井)

【特別賞】 川俣孝昭(星一つ、雌、A2、529キ、BMS No.3、2700円、セントラルフーズ)

カテゴリでは特別推奨牛のほか非常に優れた枝肉もあったため、そちらも特別賞として選ばせていただいた。これら褐牛は希少価値があり、赤身肉をしっかりと味わえる牛肉。生産者の皆さまにはこれからも自信をもって育ててほしい」と評した。

生産者表彰式では、穴見理事長が「今回の開催についてもミート・コン